



もとみや

議会だより

第44号

平成28年7月発行

優勝目指して走ります！
(本宮支部消防操法競技大会)



議案審議（平成28年度の国保税率を決定）		P.2～3
意見交換会での意見・要望を精査・検討		P.8～10
平成27年度 政務活動費の使い道を公開		P.11

各会計補正予算など 25議案を可決

6月 定例会

6月定例会（第2回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計補正予算など23議案と報告4件、議員からは発議2件が提出され、討論・採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情2件が提出され、審議の結果、採決と決定しました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書、給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書を提出

日本労働組合総連合会福島県連合会一本松・安達地区連合から「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書」および「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の陳情書」が提出され、審査の結果、採択となり、内閣総理大臣等に対し意見書を提出することとなりました。

人事

任期満了に伴う監査委員の選任、法律の改正に伴う農業委員会委員の任命の議案が上程され、全会一致で同意しました。

監査委員（再任）

安田 秀一氏（本宮字中條）

農業委員会委員

渡邊 孝一氏（本宮字小原田）

遠藤 政幸氏（青田字萱林）

國分 政利氏（荒井字堂川）

渡邊 謙輔氏（仁井田字上野台）

伊藤 隆一氏（岩根字梅原）

渡辺 喜一氏（和田字竹ノ内）

國分 新司氏（糠沢字堀ノ内）

渡邊 平二氏（白岩字松ヶ作）

佐藤 孝昭氏（稻沢字団子森）

国民健康保険税

前年度並みに据え置き

6月定例会は、前年度の医療費と被保険者所得の確定、社会保険診療報酬支払基金が決定する後期高齢者支援金と介護納付金に基づき、本年度の国民健康保険税率の改正を行うことから、通称「国保議会」とも呼ばれています。

本年度は、過去3年間の医療費が減少傾向に推移していることから医療給付費分の税率を据え置き、後期高齢者支援金分と介護納付金分の税率を引き下げ、被保険者数が減少している中でも一人当たりの税額を前年度対比0・08%の引き上げとしました。また、税負担の軽減措置として一般会計から6千5百万円、平成27年度の繰り越し見込み額から1億7千万円の繰り入れを行います。

議会では、この税率改正についての議案第54号を18対1の賛成多数で可決しています。（詳細は6ページ）

国民健康保険の税改正

項	目	平成27年度	平成28年度
所得割	医療給付費	6.46%	6.46%
	後期高齢者支援金	2.73%	2.60%
	介護納付金	2.15%	2.10%
均等割	医療給付費	23,500円	23,500円
	後期高齢者支援金	9,000円	9,000円
	介護納付金	10,000円	9,600円
平等割	医療給付費	18,400円	18,400円
	後期高齢者支援金	7,200円	7,200円
	介護納付金	5,500円	5,500円

一般会計補正予算

国民健康保険特別会計に6千5百万円の繰り出し

今議会に提出された平成28年度一般会計補正予算は、国民健康保険特別会計への財政支援繰出金や、平成23年度に実施した石神市営住宅の復旧事業の補助金が確定したことに伴う過年度清算金、神座地区に整備中の屋内運動施設の外構工事費の増額、申請のあった行政区に交付する集会所整備費補助金などが計上されました。また、職員の異動や早期退職に伴う人件費分が減額されています。

この結果、歳入歳出のそれぞれに9,735万円が増額されました。



《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

国民健康保険特別会計財政支援繰出金
…6,500万円
公営住宅復旧事業費国庫補助金過年度精算金
…2,096万円
職員人件費（減額）
…－2,656万円

歳入

財政調整基金繰入金
…4,930万円
震災復興特別交付税
…2,243万円

議案質疑

集会所整備費補助金の周知は

問 補正予算で集会所整備費補助金が計上されているが、当初予算に間に合わなかった原因は。また、この補助金を知らない行政区もあるようだが、周知は十分に行われているのか。

答 修繕要望が出てきたのが4月以降だったため今回の補正となった。周知は広報紙や行政区長会議の際に重ねて広報していきたい。



▲屋内運動施設建設工事現場（関下字東原地内）

総務文教常任委員会

一般会計補正予算（第2号）のほか議案2件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算

照明器具更新工事

説明 白沢中学校照明器具更新工事では、福島県省エネ意識向上プロジェクト補助金を活用し、特別教室の照明をLED照明器具へ更新するための費用を補正する。

問 来年度以降、他校の更新を実施する考えは。

答 補助金を活用しながら今後も継続する予定であり、LED化が完了していない特別教室で更新が必要であれば対応していく考えである。

ふるさとともみや 応援基金条例制定

説明 本宮市をふるさととして応援しようとする個人、法人、その他の団体からの寄付金を適正に管理するため、基金設置に関する条例を制定する。

陳情の審査結果

陳情第5号「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の陳情書」は、日本の奨学金制度のほとんどが貸与型であり、授業料の高額化や非正規雇用の増加などにより奨学金の返済に行き詰まる人が増加している現状もあることから、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

現地調査

白沢公民館前屋外ステージ、白沢中学校体育館、本宮第一中学校南校舎耐震補強改修工事現場、屋内運動施設建設工事現場の現地調査を実施し、現状と今後の課題について説明を受けた。

生活福祉常任委員会

一般会計補正予算（第2号）のほか6件の議案が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲6月に完成した地域防災センター

税特別措置条例の一部改正

説明 減収補てん制度を規定している政省令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行う。

一般会計補正予算

説明 国民健康保険特別会計への財政支援繰出金や市内5カ所の集会所整備に係る補助金、地域包括ケアシステム構築推進事業での医療と介護の連携体制を図るための臨時職員賃金等の費用を補正する。

国民健康保険条例の一部改正

国保運営の県移行への対策は

説明 本年度の税率改正は、過去3年間の医療費が減少傾向にあることを踏まえ、一人当たりの税額を107,961円とし、伸び率で0.08%とするものである。また、前年度繰越金および一般会計から法定外繰入金を充当し、前年同様軽減措置を図る。

問 国保運営が県に移行した際の本市への影響と対策は。

答 国保税率が県内で一本化された際に、一本化された税率と本市の税率にかい離が生じ、移行後の税負担が増大しないよう、考慮している。

現地調査

本宮市地域防災センターの現地調査を実施し、設備等について説明を受けた。



▲太郎丸排水ポンプ場工事箇所（本宮字太郎丸地内）

産業建設常任委員会

一般会計補正予算（第2号）のほか議案3件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算

コミュニティ助成事業補助金

説明 宝くじ社会貢献普及事業であるコミュニティ助成事業が、安達太良太鼓保存会への補助として採択されたため補正を行う。

問 採択された助成の内容はどのようなものか。

答 安達太良太鼓保存会で使用する太鼓等の修繕費が補助対象となる。

陳情の審査結果

陳情第4号「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書」について、最低賃金は国で開催される中央最低賃金審議会から示される引き上げ額の目安を参考とし、地方最低賃金審議会で審議され、その答申を受け都道府県労働局長が決定するものである。発効日が例年10月となり、一般労働者の賃上げ時期である4月の半年遅れとなっている。これらを考慮し、最低賃金は労働者の生活を守るものであり、県内の復興や景気効果のため、賃金の引き上げと発効を早めることが求められるため、意見書を提出すべきである」と全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

現地調査

太郎丸排水ポンプ場工事箇所、塩ノ崎地区開発箇所の現地調査を実施し、現状と今後の課題について説明を受けた。

本宮駅周辺整備検討特別委員会

地域交流センター(仮称)、西口広場などについて協議



▲会議室での審査

5月10日開催の委員会では、3項目について協議しました。委員から出された意見は次のとおりです。

本宮駅東西自由通路等整備計画書(案)に関するパブリックコメントについて

- ・地域によっては関心が薄い。住民説明が足りなかったのでは。
- ・多額の予算を伴う事業である。十分に市民理解を得られるよう、説明の充実を要望する。

地域交流センター(仮称)について

- ・会議室など中央公民館と機能が重複する部分がある。

- ・人口が減っている地区であるから、大きな施設は必要ない。
- ・資料館等を併設するなど、人を呼べるような施設にする案もある。

- ・建設予定地の九縄駐車場が東口にあることで東口の活性化が図られている。この駐車場をなくさず、西口の発展のためにも西口に建設できないか。
- ・すでに認可を受けた段階で大幅な変更をすべきではない。
- ・これからでも変更可能なか。変更の余地やいつまでに意見を出せば取り上げられるのか。

西口広場の在り方について

- ・地域交流センターの位置付けと西口広場の在り方は関連している。地域交流センターの建設場所等の変更が可能場合は、西口広場の在り方も変わってくるので、次回の委員会ですべて協議すべき。

次回の委員会では、執行部に出席要請し、引き続き検討を行います。

本会議での討論

6月16日の本会議で、議案第54号、第57号の2つの議案について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第54号 本宮市国民健康保険税条例の一部改正

この議案は、平成28年度の国民健康保険税の税率等を改正するものです。税率等の詳細は3ページのとおりで

反対討論

渡辺忠夫議員

今回の税率改正では、過去3年間の医療費が減少傾向にあることを踏まえ、税率を前年度並みにすることとだが、一人当たりの平均負担額は昨年度比で87円増えている。繰越金が多く出ているこの機に前年度より低くなるようにすべき。

賛成討論

橋本善壽議員

今回の税率改正は、平成30年度予定の国民健康保険財政の県移行に向け、移行後の税負担が増大しないよう県内全市町村の平均税率を参考に賦課割合のバランス等を考慮し、0・08%を引き上げ、前年度と横ばい程度とするものである。また、被保険者の過度な税負担を避けるため市の財政支援による軽減措置を講じており、妥当なものと考えている。

議案第57号

平成28年度本宮市一般会計補正予算

本市の10周年記念事業に係るグッズの作成や記念事業の開催などの費用が計上されています。

反対討論

渡辺忠夫議員

イベントは一過性のものであり、10周年記念事業は多額の支出をして祝うものなのか疑問である。合併により中心部に施策が集中し、周辺部は寂れると心配されてきた。白沢地域の預かり保育や幼稚園の送迎バスが廃止されたが、10周年事業の多額の事業費があるならバスを廃止しないでほしい。

賛成討論

根本七太議員

10周年を記念したロードレース大会も盛会に終了し、今後もさまざまな事業が計画されている。総事業費の4分の3は県の助成金であり、中途半端な取り組みは費用対効果を考えてもマイナスである。しっかりとPRに取り組み、10周年の思い出を残してもらったことが大切であり、定住促進にも効果があると期待している。

6月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は7ページのとおりで全会一致で可決されています。

会 派 名		みらい創和会					新 風 会					共	志誠会			無 所 属				
議員名 議案番号	川名	渡辺	円谷	三瓶	石橋	渡辺	國分	川名	山本	三瓶	菅野	斎藤	渡辺	根本	後藤	橋本	伊藤	作田	国分	渡辺
	正勝	善元	長作	幹夫	今朝夫	由紀雄	義之	順子	勤	裕司	健治	雅彦	忠夫	七太	省一	善壽	隆一	博	勝広	秀雄
議案第54号	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○

※○は賛成 ●は反対 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第40号	監査委員の選任について	同意
議案第41号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第42号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第43号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第44号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第45号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第46号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第47号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第48号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第49号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第50号	専決処分の承認を求めることについて（専決第6号 本宮市税条例等の一部を改正する条例制定について）	承認
議案第51号	専決処分の承認を求めることについて（専決第7号 平成28年度本宮市一般会計補正予算（第1号））	承認
議案第52号	本宮市ふるさとともみや応援基金条例制定について	原案可決確定
議案第53号	本宮市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第54号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第55号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第56号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第57号	平成28年度本宮市一般会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第58号	平成28年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第59号	平成28年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第60号	平成28年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第61号	平成28年度本宮市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決確定
議案第62号	消防ポンプ自動車の購入契約について	原案可決確定
報告第4号	平成27年度本宮市繰越明許費繰越計算書について	
報告第5号	平成27年度本宮市事故繰越し繰越計算書について	
報告第6号	平成27年度本宮市水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第7号	専決処分の報告について（専決第5号 和解及び損害賠償額の決定について）	
発議第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
発議第4号	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書	原案可決確定
	議員派遣について	決定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決定

陳情一覧表

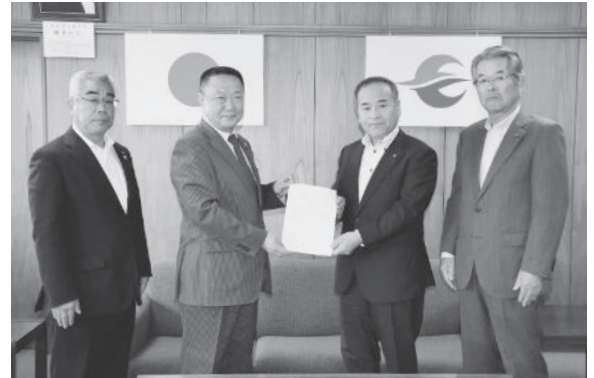
受理番号	受理年月日	付託委員会	件名	提出者	審議結果
陳情第4号	平成28年2月29日	産業建設	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	採 択
陳情第5号	平成28年2月29日	総務文教	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	採 択

意見・要望への対応をお知らせします

市民との意見交換会でいただいた皆さんの意見・要望を「市長に伝えるもの」と「議会にて処理するもの」に精査分別し、対応方針を決定しました。

市長に伝えるもの

市長に伝えるものは、市民の率直な意見として5月20日に市長に提出しました。内容の一部をご紹介します。



ちなみに平成26年度の要望はこのように対応されました。(一例)

- ・本宮市でも合コンなど企画をやってみて面白みを出していく必要があるのでは。
→**出会いサポート事業を平成28年度予算化。**
- ・人が集まる施設が古く、トイレの洋式化が進んでいない。高齢者に優しい施設に改修すべき。
→**平成29年度末までに老人憩の家を改修予定。**

本宮第一中学校区

- ・五百川駅や4号線農協前の看板のような見えない看板設置は、実際に本宮市のPRになるとは思わない。そういうものにお金をかけるのであれば、もっと道路をなんとかしてほしい。
- ・駅を出ると駐車場ばかり。駅の活性化の取り組みをしてほしい。
- ・学力向上やスポーツに力を入れてほしい。
- ・病院、保健所等県や国の施設の誘致が必要だと思う。
- ・民生委員一人当たり20名程の一人暮らし高齢者を抱えており、月最低2回は回っているが民生委員だけではとても回りきれない。地域の皆さんの支援をいただきたい。
- ・空き家対策は予算を組み業者がやるのでは時間や無駄なコストがかかり時代遅れである。市の職員がプロジェクトを組んでやるべき。
- ・通学路の整備も予算をつけてからやるのでは時間がかかりすぎる。時間とお金をかけないで、時間帯で交通規制をするというような柔軟な発想をしてほしい。
- ・農業者や飲食店には予算をつけて名物を作るような提案をするなど自分たちで頑張る意識をもつように、それをバックアップするような発想をしてほしい。
- ・住宅の建ぺい率見直しを。
- ・子育てしやすい環境や利便性をもっとPRすべき。
- ・定住のためには企業誘致をして正社員として雇用されるようにしてほしい。
- ・堤防や道路拡張による立ち退きで行政区が小さくなり、行政区自体が成り立たなくなっている。行政区の再編成を検討してほしい。
- ・自主防災組織の相談員を置いて防災組織や地域ネットワークをつくるなど町内会の活性化をしてほしい。

本宮第二中学校区

- ・福島大学に農学部が創設されると聞いているが、農業試験場も近くにあり、誘致は雇用の拡大、活性化と合わせ五百川駅の整備にもつながるのではないか。
- ・森林を活用するパレット製造やエネルギー関連の企業を誘致する考えはあるか。
- ・周りが駄目だからこそ、本市は受け入れようという発想にならないといけないのではないか。
- ・五百川駅整備は駅を核とした周辺整備計画を立てて実施すべき。
- ・人口が減少していく中、次世代に負債を送っていく事業等については慎重に取り組んでほしい。

- ・岩根を起点として奥の細道自然歩道があるが、標識が朽ちて無くなっている所もあるので、確認して再築し、トレッキングやハイキングのコースとして健康づくりや体力づくりに活用できるよう検討してほしい。
- ・高校生の通学のためのバス運行が実現されるよう要望する。
- ・教育の一環として、小中学生を対象に子ども議会を開催してほしい。
- ・政治に関心を持ってもらい投票率を上げるため、投票に来たらスタンプを押して何回かで特典が得られるなどの取り組みはどうか。
- ・高齢者が安心して暮らせるように施設の誘致または整備を考えてもらえないか。
- ・パークゴルフやグラウンドゴルフなど全国から人を呼び込めるようなスポーツ施設を整備すれば地域の活性化にもつながると思う。

白沢中学校区

- ・おせっかい課とか仲人課を行政が設置し、合コンを企画するなど結びつける事業をしてほしい。
- ・二本松市で婚活事業に取り組んでいるが、先にやらないと白沢地区の若者が隣の市や村に行ってしまう可能性がある。若い世代の出会いの場の創出を早急に、簡単にできるはずなので難しく考えずに即座に動いていただきたい。
- ・駅周辺の環境整備も大事だが、福祉社会を重点的に整備していただきたい。
- ・安達太良ドリームラインが完成したが、交通の便が良くなっただけで何の役にも立っていない。工場誘致や住宅団地造成など、何らかの事業を進めて活用していただきたい。
- ・ふるさと納税の宣伝が足りないのではないか。

- ・白沢地区は道路の高低差がありすぎる。高低差をなくし、きちんと歩道を整備するなど、道路を利用して活性化する対策を一つ考えていただきたい。
- ・市道や公共の道路の草刈り代を少しでも農家の人にもやらないと、誰も草刈りをやらなくなる。
- ・クリーンアップ作戦などまじめにやるところとやらないところがある。やらないところにはペナルティを科すべき。
- ・市民がどれくらい地元のことを知っているかふるさと検定を試してみてもどうか。
- ・観光関係で本宮、白沢の観光はこれといったものがない。観光の部分で収入を得ることも一つの課題である。
- ・パブリックコメントを2回出したことがあるが、どのように利用されたのかが分からない。

議会にて処理するもの

議会にて処理するものは、5月20日の全員協議会で協議し、議会として対応するものと個人で対応するものに精査し、今後、市民の意見・要望を政策に取り入れていくこととしました。議会として対応するものの内容の一部をご紹介します。

本宮第一中学校区

- ・優秀な人材が戻って来ない。高校生、大学生を集めて戻らない理由について話し合いをしてもらいたい。
- ↓若者が戻って来られるような環境づくりに努め、市民との意見交換会でも学生や若者に参加してもらえるよう呼びかけたい。
- ・市民との意見交換会を年に2、3回開催してほしい。
- ↓一般市民との意見交換会は年1回とし、常任委員会での各種団体との意見交換会を行い、施策に反映していきたい。なお、時間配分などは再度検討したい。

本宮第二中学校区

- ・常任委員会の研修報告が委員長報告ひとまとめになっている。個人ごとに報告を出すよう要望する。
- ↓全員で協議し、今のやり方にした経緯がある。研修後の委員会の中で出た意見をまとめたものを委員長が報告しており、委員会の記録は開示請求できる。
- ・岩根の大池周辺を整備し健康づくりなどに活用するよう働きかけてほしい。
- ↓大池はきれいに整備された。個人の判断で健康づくりなどに活用いただきたい。
- ・対象者やテーマを絞って新たに選挙権を有することになる若者の意見を聞いてほしい。
- ↓意見交換会の周知の段階で若い世代の参加を呼びかける。
- ・子ども議会を開催してほしい。
- ↓「市長に伝えるもの」でも提出している。市には学校と協議し、学校からの要望があれば開催するよう働きかける。



▲歩道が整備された岩根大池

白沢中学校区

- ・住民から10人程募集し、議会モニター制度の導入を。
- ↓モニター制度は考えていない。議員が日常的に住民の意見をより多く聞くよう努める。



精査分別した意見・要望等の詳細は、本宮市議会のホームページに掲載しています。

政務活動費の使い道をお知らせします！

平成27年度8月から3月まで（議員改選後）の政務活動費の使途は次のとおりです。
政務活動費は、議員1人当たり月額1万円の交付を受けることができ、今回は8月から3月までの8カ月分が交付されています。

視察先や購入図書等、より詳しい内容をご覧になりたい場合は議会事務局までお問い合わせください。なお、差引残金は市の一般会計に返還しています。

会派

会派名（人数）	みらい創和会（5人）	新風会（5人）
収入	400,000円	400,000円
調査研究費（a）	147,974円	209,029円
研修費（b）	0円	59,210円
広報費（c）	235,818円	131,761円
要請・陳情活動費（d）	0円	0円
資料作成費（e）	0円	0円
資料購入費（f）	0円	0円
支出合計（a～fの合計）	383,792円	400,000円
差引残金（収入－支出合計）	16,208円	0円

政務活動費…地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究等の活動の経費として交付するもの。本市では、「本宮市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、平成25年度から会派または議員は、1人当たり月額1万円、年額12万円の交付を受けられるようになりました。また、「本宮市議会政務活動費の取扱いに関する要綱」を定め、政務活動費の使途基準を明確にしています。

議員

議員名	斎藤 雅彦	石橋今朝夫	橋本 善壽	後藤 省一	作田 博	国分 勝広	渡辺 秀雄
収入	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円
調査研究費（a）	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
研修費（b）	7,000円	7,000円	0円	7,126円	0円	7,000円	0円
広報費（c）	73,000円	0円	0円	0円	0円	50,382円	0円
要請・陳情活動費（d）	0円	0円	0円	0円	5,000円	0円	0円
資料作成費（e）	0円	0円	0円	0円	5,000円	0円	0円
資料購入費（f）	0円	14,364円	10,387円	22,717円	23,111円	4,130円	0円
支出合計（a～fの合計）	80,000円	21,364円	10,387円	29,843円	33,111円	61,512円	0円
差引残金（収入－支出合計）	0円	58,636円	69,613円	50,157円	46,889円	18,488円	80,000円

平成28年度の交付状況

会派または議員名	人数	交付金額
みらい創和会	6人	710,000円
新風会	6人	720,000円
志誠会	3人	360,000円
伊藤隆一	1人	110,000円
作田博	1人	120,000円
国分勝広	1人	120,000円
渡辺秀雄	1人	120,000円

算出方法

交付金額

$$= \text{月額1万円} \times \text{12カ月} \times \text{人数}$$

※みらい創和会は4月20日付で石橋今朝夫議員が加入し6人となったため、本宮市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、5月分からその分が増額され、年額71万円となっています。

一般質問

市政を問う

6月定例会の一般質問は、9名の議員が登壇し、2日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

13ページ…

■根本七太議員

- ・教育現場の課題は
 - ・水質汚染防止対策は
- ## ■渡辺秀雄議員
- ・定住促進施策を交流人口に
 - ・行政区のあり方を見直すべきでは

14ページ…

■石橋今朝夫議員

- ・保管場所からの廃棄物搬出計画は
- ・防犯灯の要望の調査は

■斎藤雅彦議員

- ・公共施設の利用料金を見直しては
- ・10周年事業の内容決定の仕組みは

15ページ…

■菅野健治議員

- ・公民館の機能移転の考えは
- ・地域懇談会での要望の反映は

■後藤省一議員

- ・災害時の連絡体制は
- ・観光地の周遊コース作成を

16ページ…

■円谷長作議員

- ・自転車利用者の保険加入の考えは
- ・低所得者等の介護保険納税状況は

■三瓶幹夫議員

- ・高齢者住宅改修事業の内容は
- ・運転免許自主返納者への対応は

17ページ…

■渡辺忠夫議員

- ・平和式典に小中学生の派遣を
- ・全大候型ランニングコース整備は

問 市のスマイルキッズパークや、ビール園などの民間施設は市外からの利用者が多くなっている。人の出入りが多くなれば、いろいろな施策が展開できるが、本市の魅力アピールし、定住促進につながる取り組みをすべきでは。

答 定住促進には日常生活の利便性、子育て環境の良さや住宅、就労の場の確保しやすさなどの要因が重要である。市内施設の交流人口に対してだけでなく、首都圏を含めた市外での情報発信、情報チャンネルの拡大を図っていききたい。

問 以前にも課題が多いとただしたが、身近なコミュニティの場が、規模、戸数の問題などで十分な地域活動ができなくなっている。行政との連携の一翼を担うし、見直しを含めあり方を検討すべきでは。

答 少子高齢化で人口減る中において、それぞれの行政区にいろいろな課題があると思うが、行政主導の見直しは難しいと考える。まずは現状と課題の情報収集を行い、検討していきたい。

その他の質問

- ・文化スポーツ振興基金の現状と課題は
- ・基金活用委員の具体的な役割は



本市を訪れる方に魅力アピールを



問 定住促進施策を交流人口に 情報チャンネルの拡大を図りたい

渡辺秀雄
議員

問 行政区のあり方を見直すべきでは
答 情報収集を行い検討していきたい



新たな10年に向け教育課題への取り組みを

問 合併して間もなく10年を迎える。新たな10年に向けて教育現場の現状と課題をどのように捉えているか。子どもたちに本市の歴史と文化に触れさせる体験学習は、感動や感激を得、郷土愛を育むことが期待されるが。

答 一つは児童・生徒数の減少だが、複式学級になることはないと考えている。二つ目の不登校は、現在小中学校合わせて3名で減少している。三つ目は学力向上、四つ目は体力向上である。体験学習は充実した活動となるよう進めたい。

問 本市で取り組んでいる水質汚染対策は。また、合併浄化槽を設置していても補助金の対象外の地域がある。水質を管理していれば補助金の対象にすべきと考えるが、苦情等はないのか。

答 水質汚染対策として、工場等からの排水は禁止されており、異常があれば県に同行し確認している。油流出事故の際には関係機関と連携し拡大防止を図っている。補助金については、問い合わせはあるが説明により納得いただいている。

その他の質問

- ・国保財政の健全化について
- ・教育予算の果たす役割と効果について

複式学級…2つ以上の学年の児童、生徒を1つに編制した学級



問 教育現場の課題は 答 児童・生徒数などの課題がある

根本七太
議員

問 水質汚染防止対策は
答 関係機関と連携し取り組み



問 保管場所からの廃棄物搬出計画は

答 焼却施設が完成次第搬出する

石橋今朝夫
議員

問 原発事故の発生から5年が経過した。8千ベクレル以上の指定廃棄物の堆肥、稲わら、牧草や8千ベクレル以下の農業系廃棄物の保管場所からの搬出計画は。また、焼却施設建設の進捗状況と今後の見通しは。

答 廃棄物処理するための焼却場が完成するまでは、今までどおり所有者の土地に保管していただき、焼却施設が完成次第搬出する予定である。焼却施設の建設候補地選定は難航しているが、そう遠くない時期に報告できると思われる。

問 防犯灯の要望の調査は各地区防犯協会に依頼している

答 防犯灯の早期設置により歩行者等の安全・安心を確保するため、3月定例会で平成27年度と同様に防犯灯は予算化された。市民の要望を聞きながら随時LED化を進めていくとのことだが、防犯協会に今年度の要望を調査したのか伺う。

答 各地区の防犯協会へ要望調査を依頼しており、現在各地区で取りまとめの最中である。例年6月以降に提出されている。防犯灯の設置は市民からの要望が多い項目であり、整備を必要とする箇所は500カ所ほどあると把握している。

その他の質問

- ・廃棄物処分について農家への説明が不十分では
- ・防犯灯をすべてLED化する計画は



いつまで保管しなければならないのか



有料化でより安全な施設に



問 公共施設の利用料金を見直しては

答 方向性を考えていきたい

斎藤雅彦
議員

問 スマイルキッズパークは現在無料で、20万人を超える利用者があり、今後の維持管理費の増が懸念される。イベントや設備をリニューアルして、子どもたちにより安全・安心に利用いただくためにも、利用料金を見直す時期ではないか。

答 協力の募金箱設置など、維持管理の協力をいただくことから始めるのが良いと復興庁から回答を得ている。ある程度短期間の中で今後の方向性を考え、スマイルキッズパークに限らず復興関連で整備した施設について考えていきたい。

問 10周年事業の内容決定の仕組みは職員が提案し委員会でも協議する

答 本年度実施される本市誕生10周年記念事業は、担当職員以外にも提案を募集したり、グループ提案のようなく、係で提案を実施したり、部をまたがって市に提案するような仕組みがあるのか。

答 全庁的に事業提案を照会し、各課および職員から40件の提案があった。そこから職員の検討チーム内で事業の実効性・有用性等も含めて事業を絞り込み、市民の検討委員会と事業内容の協議を重ねながら事業をまとめている。

その他の質問

- ・会議室不足、駐車場不足の対策計画はあるか
- ・総合戦略の指標検証の今後の実施予定は

問 災害はあつてはならないし、万が一の時の対策も私たちが考えておかなければならないと思うが、どのような連絡網で市民を守るのか。また、自助・共助・公助の中で共助の精神が最も大事と考えるが、自主防災組織設立推進の考えは。

答 連絡方法は防災行政無線や巡回広報、FM放送や緊急速報メールなどあらゆる手段で広く情報提供していく。自主防災組織は、行政区長会議や行政区長連絡協議会総会に加え、大字単位で説明会をするなど設立につながるよう努めたい。

問 例として桜の季節の日輪寺の枝垂れ桜や塩ノ崎の大桜、岩角山やアサヒビール工場など、今まで点だったものを線で結び付け、周遊コースをつくってインターネットなどで周知をするなど、観光開発に寄与する考えは。

答 市内にはかなり多くの名所旧跡があり、観光ルートを作成し誘客を図っている。県のホームページなどでも周知をしており、春夏秋冬を通して観光客の誘致ができ、地域の活性化につながるような観光事業の進展を考えたい。

その他の質問

- ・防災訓練、防災計画の対策・対応について
- ・友好都市、災害時応援協定について



塩ノ崎の大桜



問 災害時の連絡体制は あらゆる手段で広く提供していく

後藤省一
議員



耐震工事の代わりに機能を移転しては

問 中央公民館の耐震化のスケジュールと地域交流センター（仮称）への公民館機能移転についての市の考えは。

答 耐震診断が必要な施設の診断を平成29年度までに終了させ、耐震化計画を策定していきたい。地域交流センター（仮称）は賑わい創出のための交流機能を備えた拠点施設として整備するもので、公民館の機能の移転は考えていない。

問 6月21日から高木地区を皮切りに14会場地域懇談会が行われるが目的と市民の要望をどのように反映していくのか伺う。

答 住みよいまちづくりに向け、地域の生活や福祉、市政に対する意見をいただき、反映するというところで実施している。要望については、説明して理解をいただいたり、予算措置をしておいたり、二丁目に応えられるよう進めていく。

その他の質問

- ・市職員について
- ・参議院議員選挙について



問 公民館の機能移転の考えは 答 現在は考えていない

菅野健治
議員

問 地域懇談会での要望の反映は二丁目に伝えられるよう進めたい



問 自転車利用者の保険加入の考えは

答 被害者救済の保険普及を図る

円谷長作
議員

問 昨年自転車事故が47都道府県で最多となった大阪府では、自転車事故による死亡者が年間50人と報道されている。本市でも本宮二中では自転車通学が認められており、すべての自転車利用者への啓発と保険加入について市の考えは。

答 交通安全運動の中でも保険に加入して損害賠償に備えることが項目に挙げられており、車両運転者の責任を自覚して、自転車の定期整備と万が一の事故に備えた被害者救済のための保険制度の普及啓発を図っていきたいと考えている。

問 低所得者等の介護保険納税状況は 答 普通徴収で273万円未納がある

問 介護保険制度は平成12年から始まったが、全国の65歳以上の高齢者で保険料を払えず差し押さえされた人は1万人を超えている。本市の納入状況と、その中で年金額18万円以下は普通徴収となるがその納入状況は。

答 平成26年度の実績では、納付額が3億8,949万円、納付率が99.3%である。年金額18万円以下の普通徴収は444人、3,042万円。そのうち未納額は273万円である。特別徴収は年金からの天引きとなり未納はほばない。

その他の質問

- ・法改正による市職員の人事評価制度について
- ・平成31年度からの市総合計画について



安全な乗り方の指導も強く進めていくべき



高齢者に事故がないように



問 高齢者住宅改修事業の内容は

答 認定状況別に2種類がある

三瓶幹夫
議員

問 国は平成37年を目標として、施設サービスから在宅サービスの医療や介護を目指している。自宅での介護を望む人が増えており、これから介護・療養しやすい家が必要になると思われる。高齢者住宅改修事業の内容は。

答 事業は2種類あり、一つは在宅で生活する要支援・要介護認定者を対象とし、利用限度額が20万円、そのうち1割を自己負担とするものと、要支援・要介護認定以外の人を対象とする市単独事業で利用限度額を18万円とするものである。

問 運転免許自主返納者への対応は 答 市の公共交通を活用いただきたい

問 県内で一年間に運転免許を自主返納した人は2,644人で、自主返納の理由は体の機能低下の自覚が最も多く、それ以外には家族の勧めなどである。今後予想される自主返納者への行政サービスの対応は。

答 本市の自主返納者数は平成26年に29名、平成27年に57名であり、補助制度としては県のタクシー協会が割引サービスをを行っているほか、市の公共交通として巡回バス、イクタンタクシーを低料金で運行しており、活用いただきたい。

その他の質問

- ・駅やショッピングセンターでの投票について
- ・地域交流センター（仮称）に投票所設置は

議会を傍聴してみませんか

暮らしやまちづくりに関するさまざまな事柄を、市民の皆さんに代わって決定するのが市議会です。市議会と市長はお互いに討議し、協調を図りながらより良い市政のために努力しています。

市役所3階の議事堂で開かれる本会議には、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と、必要に応じて招集される臨時会があります。議会日程は、市の防災行政無線とホームページでお知らせしています。傍聴は当日、住所と名前を記入するだけでどなたでも簡単にできます。持参するものも特にありませんので、ぜひ傍聴においでください。



ホームページアドレス
<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
 にアクセス！
 それか、「本宮市議会」で検索してね♪



田村高校の全天候型ランニングコース

問 核兵器のない平和で、公正な社会のため、被ばく71年を核兵器廃絶の転機にと原水爆禁止世界大会が広島で開かれる。広島の平和式典に小中学生の派遣事業を行う自治体があり、本市でも派遣事業を実施してはどうか。

答 本市の次代を担う子どもたちが広島の平和式典に参加し、現地を見て原爆の被害や戦争の悲惨さを知り、平和の尊さを深く認識することは非常に重要であり、今後事業の実施を検討していきたいと考えている。

問 文化・スポーツのまち本宮と言われ、有名なマラソン選手を輩出し、福島駅伝でも優秀な成績を収めるなど市民の努力が発揮されている。雨でも走れる、足に優しいランニングコースの設置はできないか。

答 市には全天候型のランニングコースがなく、本宮運動公園などを利用しての駅伝の代表チームや愛好者は、雨天の際には練習が制限される。全天候型ランニングコースの整備は要望もあり、引き続き内部で調査、検討を進めたい。

問 全天候型ランニングコース整備は引き続き調査、検討を進めたい



問 平和式典に小中学生の派遣を検討したいと考えている

渡辺忠夫
議員

その他の質問

- 合併10年を経過して成果と課題は
- 合併10年を経過して今後の対応は

